

令和6年度第1回初級講習会



報告



令和6年度、第1回初級講習会を、6月12日（水）～6月21日（金）の5日間で開催しました。各先生方からは援助の現場ですぐに役立つ内容をご講義いただき、充実した講習会になりました。参加者は、講習会を通して、提供会員として活動するための基礎的な知識や技能を身に付けようと熱心に受講されました。

講習会の様子



保育のこころ

松山市こども家庭部 保育・幼稚園課
岡田 祐子 先生 野本 智恵 先生

乳幼児期の発育とかかわりについて、年齢ごとの発達状況や対応の方法について詳しく教えていただきました。また、子どもの事故を防ぐための注意点を学びました。

【受講者の声】

・子どもの気持ち尊重した関わり方や声掛けが大切であると思いました。情緒的な欲求にはできる限りこたえてあげることの大切さや甘える経験が自立に繋がるという言葉が印象的でした。

子どもの遊び

松山市こども家庭部 保育・幼稚園課
岡田 祐子 先生 野本 智恵 先生

子どもの成長に合わせた遊びの紹介や、手遊びや絵本の読み聞かせを実際に見せていただきました。また、身近にあるもので楽しく遊べるおもちゃの制作実習を行いました。

【受講者の声】

・家の中でできる遊びや絵本を知ることができ大変参考になりました。身近なものでも工夫すれば楽しく遊べるのがわかり、すぐに活用できると思いました。

子どもの心の発達とその問題 |

えひめ子育てサポートラボほっこりん
主宰 玉井 利江 先生

子どもの発達段階に合った効果的なかかわり方では、「共感・理解・見守り」を基本に効果的なコミュニケーションやできている当たり前の行動に注目する「ポジティブ行動支援」について実践を交えながらご講義いただきました。

【受講者の声】

・子どもとの関わり方、話の聞き方等とても勉強になりました。育児を振り返ったり、改めて育ちのプロセスを意識して関わったりすることの大切さを学びました。預かる際、困ったことを伝える・話を聞く等コミュニケーションを大切にしていきたいです。

子どもの心の発達とその問題 II

児童発達支援センターあゆみ学園

児童発達支援管理責任者 今村 高博 先生

発達障がいの特性とその2次障がいについて学び、子どもとの関わり方（アセスメント・行動観察、着目、整理、記録）し原因を推測し環境を整備・見通しを立てることの重要性、伝え方や肯定的にほめることも大切であるご講義いただきました。

【受講者の声】

・自閉症の3大特性を具体的に教えていただき、知識を持った大人がもっと増えれば子どもも生きやすくなると思います。子どものいろんな情報（アセスメント）を集めることで正しく理解できるように努めたいです。

身体の発育と病気

石丸小児科

院長 中野 省三 先生

子どもの成長・発達の多様性や子どもの罹りやすい病気では、発熱時や痙攣時の対処法を教えてくださいました。また感染症やアレルギー疾患についても幅広くご講義いただきました。自己判断しない大切さも学びました。

【受講者の声】

・子どもが罹る病気やその対処法について学ぶことができました。様々な感染症を再度確認できアレルギーやそれに伴うアナフラキシーショックについても学びました。

子どもの世話

河原学園 人間環境大学

松山看護学部看護学科 准教授 星田 ゆかり 先生

子どもの呼吸・脈拍・体温調節機能・消化機能・排泄機能・脱水・免疫機能・神経系の発達・睡眠・清潔について、子どもを預かる上での注意点を含め分かりやすくご講義いただきました。

【受講者の声】

・子どもの生理機能について基本的なことを再確認できました。子どもを預かる時には、しっかりとした情報をもらい目配り、気配りをしていきたいと思います。とても役立つ講座でした。

看護の基礎知識

日本赤十字社 愛媛県支部
事業推進課 福祉係長 鶴久森 陽子 先生

「こどもに多い事故と予防」について、屋外や室内で事故の誘因になる場所やものについて、また事故の予防についてご講義いただきました。こどもの気になる症状と手当では、応急処置としてバンダナやストッキングを使用する方法を学びました。

【受講者の声】

・子どもを預かる際、家の中の危険な場所や物を再確認できました。事故の予防を心掛け、急な怪我や病気の時、慌てず発生状況や症状の変化を慎重に観察することを心に留めたいと思います。責任の重大さも感じながら受講しました。

安全・事故・救命講習

日本赤十字社 愛媛県支部
事業推進課 係長 有馬 三貴 先生

一時救命処置（心肺蘇生）の方法を、実際に人形や AED を使用し何度も実習を行いました。胸骨圧迫では成人と小児（未就学児）の仕方の違いや気道確保、異物除去の方法を教えていただきました。

【受講者の声】

・救命講習は過去に何度か受講したことがありますが、「ライブ映像 119」といった新しい情報や、細かな注意点到めて気づかされました。救命法の手心肺蘇生は何度やっても大変だなと思いますが、必要な状況に出くわした時、対応できる人でありたいと思いました。実践的でとても勉強になりました。

子どもの栄養と食生

株式会社 ヘルシープラネット
管理栄養士 今川 弥生 先生

子どもの栄養と食生活について、離乳食から幼児期の食生活や生理的特徴と発育・発達について、エピソードを交え詳しくご講義いただきました。「食事はバランスよく楽しく食べる」子どもの食育の大切さを学びました。

【受講者の声】

・必要な栄養素の大切さに改めて気づかされました。乳幼児期の食生活が将来大きく影響する。3食の食事のバランスが大事で楽しく食べることを心掛けたいと思いました。

事業を円滑に進めるために（修了式）

まつやまファミリー・サポート・センター
アドバイザー

ファミリー・サポート・センターの意義と役割について、また援助活動のしくみと事務処理について説明を行いました。その後、井藤館長の終講挨拶のあと会員証を交付し、参加者は今後の援助活動に対する希望にあふれていました。

【受講者の声】

・援助活動の流れが分かって参考になりました。期待と不安がありますが、「できるときにできることを」で無理せずできたらなと思います。提供会員のアンケート結果は分かりやすく、現状を知るのに役立つ資料でした。



参加者

5日間10講座 延べ 198人

提供会員資格取得者

21名

熱心にご受講いただきありがとうございました

